

土浦市立斗利出小学校 学校長：岩瀬 治

【実施日時】	平成20年10月30日(木) 8:45~13:30
【参加者と人数】	1年~6年83名
【コーディネーター】	矢島 れい子
【講師】	西村ルミアナ(ブルガリア) シュレスタ・ジャスミ(ネパール)
【活動内容】	ブルガリアとネパールの国の様子や学校についてのお話 児童からの質問 ネパールの洋服の説明と試着(代表児童) それぞれの国のダンスや遊びを教えてもらい一緒に遊んだ。 児童からの発表(低学年...崖の上のポニョのダンス、キラキラ星の合奏 高学年...校歌とカルメンの子ども歌の合唱)
【参加者の感想】	ブルガリアの人は、毎日ヨーグルトを食べていて、赤ちゃんやお年寄りも朝・昼・夜と食べているそうです。色々な味のヨーグルトがあって、みそや醤油のように調味料として使うそうです。ルミアナさんは、納豆にヨーグルトとチーズをかけて食べていると聞いておいしいのかなと思いました。相撲取りの琴欧州が有名で、ブルガリアではレスリングが強かったそうです。小学校は、夏休みが3ヶ月あって、おやつ時間は家に帰っていいと聞いて羨ましく思いました。 ネパールのジャスミンさんはサリーを持ってきて着せてくれました。長い布だったので誰かに手伝ってもらって着るのかなと思いました。ネパールではまだ学校に行けない子どもがいると聞いてびっくりしました。日本などからの援助で、学校ではコンピュータを使って勉強していると聞いてよかったなと思いました。ネパールの文字や発音を教えてもらいましたが、母音がたくさんあって難しそうでした。
【担当者の感想】	お二人の先生とも日本語がとても流暢で、自分の国のことについてポイントを押さえて、分かりやすく説明してくださいました。自分の国の場所や国旗の意味・子ども達の様子・簡単なあいさつなどとてもよく分かりました。簡単なダンスやゲームを教えてもらい、一緒に遊べたのも良かったです。ネパールについては、教師側も意外だったことが多く、とても勉強になりました。事前に勉強してきた児童は、より突っ込んだ質問ができて、有意義でした。児童と一緒にやれる活動を今後考えていきたいと思います。

